

坂本 俊彦 SAKAMOTO Toshihiko

研究分野：地域社会学

キーワード：住民自治活動、高齢者生活支援



研究トピックス：

地域住民による高齢者見守り活動の促進に関する研究

研究の要旨：

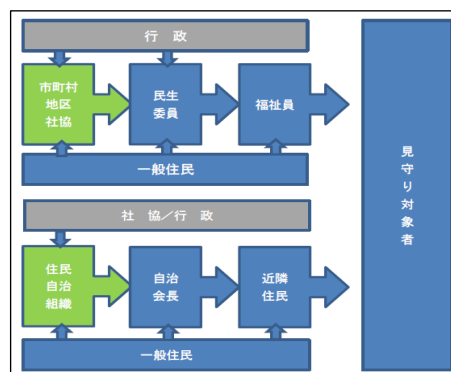
(1) これまで、地域住民・団体による地域課題解決能力の向上に資する、下記のような調査研究を実施して参りました。

- 住民による高齢者生活支援活動に関する研究
 - ・高齢者見守り活動／高齢者ふれあいサロン／シニアの地域デビュー
- 住民自治活動の促進支援に関する研究
 - ・住民自治組織の運営／地域づくり計画の策定／地域づくり人材の発掘・育成

(2) 近年は、住民による高齢者見守り活動の促進を目的とし、その構築方法ならびに継続方法に関する研究を実施しています。

構築、継続のいずれにおいても、行政、市町村地区社会福祉協議会、住民自治組織、民生・児童委員、福祉員、自治会長、といった異なる主体の協働が必要ですが、その具体的なあり方は、地域社会の特性を反映して多様なものとなります(右図)。

この研究は、これらの多様性を一定の条件に基づいて整理することで、地域社会の特性にあった構築方法ならびに継続方法の普遍化を図ろうとするものです。



主な関連業績：

坂本俊彦(2017)「協働のまちづくりの課題と展望」三浦典子・横田尚俊・速水聖子編『地域再生の社会学』116-132頁 学文社

坂本俊彦(2016)「地域包括ケアシステム構築における住民参加の可能性」『厚生学』vol.63 no.7 14-19頁 厚生統計協会

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)